

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社STG 上場取引所 東  
コード番号 5858 URL http://www.stgroup.jp/  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 輝明  
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 管理本部長 (氏名)白井 芳弘 (TEL) 072(928)0212  
四半期発行情報提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,179	19.0	39	—	50	424.1	38	—
2023年3月期第1四半期	991	84.3	△27	—	9	169.4	△16	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1百万円 ( —%) 2023年3月期第1四半期 △4百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	46.40	45.16
2023年3月期第1四半期	△20.05	—

(注) 2023年3月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,122	1,216	23.7
2023年3月期	5,078	1,235	24.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,215百万円 2023年3月期 1,235百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,560	18.7	333	69.6	292	2.5	224	17.0	270.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	838,400 株	2023年3月期	838,400 株
2024年3月期1Q	11,200 株	2023年3月期	11,200 株
2024年3月期1Q	827,200 株	2023年3月期1Q	827,200 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、急速な金融引き締めにより、インフレは鈍化傾向にあります。欧米では複数の金融機関で経営が破綻する等、経済への悪影響も見られました。また、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化しており、特に欧州を中心に資源・エネルギー価格の上昇や物流の遅延等を引き起こし、世界的なインフレや金利上昇に波及するなど、経済活動への影響と先行き不透明感が継続しております。

わが国においても、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の分類が5類へ移行されたことや高水準での賃上げの実施により、社会経済活動の回復の動きが続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、半導体不足が緩和傾向になる中、自動車部品の受注が続いており、これに対応するため設備投資を積極的に行い、増収・増益に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,179百万円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は39百万円（前年同四半期は27百万円の営業損失）、経常利益は50百万円（前年同四半期比424.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円（前年同四半期は16百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、2,817百万円となりました。これは主に、「仕掛品」が90百万円、「その他」が54百万円増加した一方で、「現金及び預金」が76百万円、「受取手形及び売掛金」が47百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、2,304百万円となりました。これは主に、「有形固定資産」が2百万円、「無形固定資産」が3百万円、「投資その他の資産」が12百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、2,227百万円となりました。これは主に、「1年内返済予定の長期借入金」が45百万円、「未払金」が78百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、1,678百万円となりました。これは主に、「長期借入金」が156百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、1,216百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」が17百万円増加し、「為替換算調整勘定」が39百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に発表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	900,024	823,114
受取手形及び売掛金	897,081	849,299
電子記録債権	49,896	45,662
製品	135,632	128,095
仕掛品	378,080	468,410
原材料及び貯蔵品	244,159	261,214
その他	224,526	279,209
貸倒引当金	△37,508	△37,421
流動資産合計	2,791,892	2,817,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	506,134	531,136
機械装置及び運搬具（純額）	1,083,635	1,086,674
土地	16,601	16,601
建設仮勘定	23,075	3,727
その他（純額）	260,917	254,485
有形固定資産合計	1,890,365	1,892,624
無形固定資産		
借地権	217,018	216,076
その他	22,683	27,114
無形固定資産合計	239,701	243,190
投資その他の資産		
投資有価証券	114,980	118,659
差入保証金	11,385	17,451
繰延税金資産	21,017	23,917
その他	8,848	8,782
投資その他の資産合計	156,233	168,810
固定資産合計	2,286,299	2,304,625
資産合計	5,078,192	5,122,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	456,971	449,266
短期借入金	973,926	999,201
1年内返済予定の長期借入金	516,221	470,698
未払金	208,202	129,474
未払法人税等	16,790	2,905
賞与引当金	15,000	7,894
その他	136,451	167,961
流動負債合計	2,323,564	2,227,400
固定負債		
長期借入金	1,237,775	1,393,960
繰延税金負債	118,999	125,584
退職給付に係る負債	49,163	51,585
その他	113,474	107,569
固定負債合計	1,519,413	1,678,700
負債合計	3,842,978	3,906,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	195,062	195,062
資本剰余金	124,475	124,475
利益剰余金	792,922	810,623
自己株式	△36,400	△36,400
株主資本合計	1,076,060	1,093,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,007	△4,448
為替換算調整勘定	165,959	126,595
その他の包括利益累計額合計	158,952	122,147
新株予約権	200	200
純資産合計	1,235,213	1,216,109
負債純資産合計	5,078,192	5,122,210

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	991,683	1,179,650
売上原価	820,695	952,769
売上総利益	170,988	226,880
販売費及び一般管理費	198,715	187,706
営業利益又は営業損失(△)	△27,727	39,174
営業外収益		
受取利息	50	1,128
為替差益	13,875	23,888
補助金収入	30,000	—
その他	1,966	2,784
営業外収益合計	45,893	27,801
営業外費用		
支払利息	7,887	15,784
その他	602	474
営業外費用合計	8,489	16,258
経常利益	9,676	50,717
特別損失		
固定資産除却損	65	314
臨時休業関連損失	3,556	—
特別損失合計	3,621	314
税金等調整前四半期純利益	6,054	50,403
法人税等	22,638	12,022
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,583	38,380
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,583	38,380

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,583	38,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△493	2,558
為替換算調整勘定	12,776	△39,363
その他の包括利益合計	12,282	△36,805
四半期包括利益	△4,300	1,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,300	1,575
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。